

営農ウィークリーNEWS

秋冬野菜 病害虫の防除対策をしましょう!!

主な害虫

他にも、アブラムシやハモグリバエ、キスジノミハムシなど・・・

防除効果が期待できる薬剤はコレ!!

※この情報はH29年9月現在の登録内容となります。

	キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー	ホウレンソウ
フェニックス顆粒水和剤	○	○	○	×
プレバソフロアブル5	○	○	○	○
スタークル顆粒水溶剤	○	○	○	○
アファーム乳剤	○	○	○	○
カケート乳剤	○	×	×	○
ディアドSC	○	○	○	○
モスピラン顆粒水溶剤	○	○	○	○

※(注)モスピラン顆粒水溶剤は劇物です。



ハイマダラノメイガ (シンクイムシ)



コナガ



アオムシ

主な病害

根こぶ病



アブラナ科野菜で発生する病害。多湿・酸性土壌の条件で発生しやすい病気です。

畝を高くし、石灰でpHの調整をしましょう。

キャベツやハクサイで登録のある薬剤は、オラクル粉剤や、ネビジン粉剤などがあります。



菌核病

低温・多湿時に発生しやすい病気。キャベツの大敵！真っ白なカビを生じ、のちにネズミの糞のような菌核を生じます。

キャベツでは、ファンタジスタ顆粒水和剤や、ベンレート水和剤などの登録薬剤があります。



根朽病

現場では、見落とされがちな、アブラナ科野菜で発生する病気です。

残さや、降雨で土壌に広がり蔓延します。感染すると、地際部が繊維化し、葉は萎れ、次第に枯死します。

畝を高くし、排水を良くするなど対策をしましょう。

キャベツでは、ベンレート水和剤やトップジンM水和剤などの登録薬剤があります。

※上記に記載する薬剤は、登録内容を保証するものではありません。薬剤の使用の際には、登録内容を確認し、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

西南部経済センターのひまわりが見頃です ❀ —TAC information

平成27年3月、西南部経済センター発足してから、センター敷地内の遊休地を活用し、野菜の栽培を行っています。今年は、景観や来店者に喜んでいただくこと、「ひまわり」の栽培に挑戦し、先日見事な花を咲かせました。品種は「東北八重ひまわり」です。ご来店の際には、ぜひご覧ください。



J A 京都中央 平成29年9月26日 No.363 作成者 上田 由里子